



食農教育支援事業「夏野菜・水稻」の 植付けを行いました

JAでは、農業を支える人材の育成をめざし、JAバンク広島は食農教育支援事業に取り組んでいます。今回は、管内小学生と苗の植付けを行いました。各作物の特徴や育て方などの説明を行ないながら植付けました。



6月7日 東広島市立木谷小学校2年生
夏野菜の植付け



5月15日 呉市立川尻小学校2年生
ミニトマトの植付け



6月7日 東広島市立木谷小学校5年生
プランターへ稲の植付け



6月7日 木谷小学校5・6年生
夏野菜の植付け



6月7日 東広島市立木谷小学校4年生
トウモロコシの植付け



6月21日 東広島市立木谷小学校
1・2年生
サツマイモの植付け



6月20日 呉市立安浦小学校1年生
サツマイモの植付け





水稲 8月

出穂前の早期防除が最も重要です。本年はウンカ・カメムシ類の飛来が多くなると予想されますので、定期的にほ場の見廻りを行ないましょう。

防除例

出穂前

①(殺虫のみ)パダントレホン粒剤L (10a当り3kg 収穫30日前まで使用回数3回以内)

②(殺虫・殺菌)ゴウケツモンスター粒剤 (10a当り3kg 出穂5日前までただし収穫45日前まで 使用回数3回以内) (1)を幼穂形成期に散布し(2)を出穂直前までに散布すると効果的です) **〈粉剤使用の場合〉** (殺虫・殺菌)トレバリダビーム粉剤 DL (10a当り3~4kg 収穫14日前まで使用回数3回以内)

・**〈豆つぶ剤使用の場合〉**
(殺虫・殺菌)ワイドパンチ豆つぶ (10a当り250gを投込む。収穫35日前まで)

・**〈液剤使用の場合〉**
(殺虫・殺菌)アミスタートレボンSE 1,000倍液 (10a当り60~150ℓ 収穫14日前まで使用回数3回以内)

・**穂揃い期**
(殺虫・殺菌)ブラシンキラップ粉剤 DL (殺虫・殺菌)ダブルカットスタークルフロアブル (殺虫・殺菌)ダブルカットスタークルフロアブル 1,000倍液 (10a当り60~200ℓ 穂揃いまで 使用回数2回以内) (殺虫のみ)スタークル粒剤 (10a当り3kg 収穫7日前まで 使用回数3回以内) (スタークル豆つぶ剤・スタークル粉剤もあり)

水稲 問 安浦店 TEL 0823-84-2049 担当 桑原伸明

野菜 8月

連作ほ場では地力が低下してきます。定期的に堆肥の投入を行なって土壌環境を改善し、品質向上・生産量増加に努めましょう。

馬鈴しょ 土づくり

連作ほ場では地力が低下してきます。定期的に堆肥の投入を行なって土壌環境を改善し、品質向上・生産量増加に努めましょう。

果樹 9月

今月も気温の高い状況が続いています。果実において、浮皮果や日焼け果が出ないよう、カルシウム資材の散布を徹底し、成品率の向上と高品質果実生産に努めましょう。

温州ミカン

後期重点摘果の徹底

温州ミカンは多めの果実を樹にならせ、仕上げ摘果を重点的に行なうことで、果実に養分が蓄積され、糖度が上がり着色も促進されます。

仕上げ摘果時期：極早生・早生温州は9月上旬~下旬、普通温州(大津四号・青島温州等)は9月中旬~10月中旬を基本とし、収穫時には成品のみが樹に成っている状態に仕上げましょう。

ただし、干ばつ状態が続いている場合は灌水を実施し、果実肥大が順調である必要があります。また摘果が十分な場合、着果過多による小玉果・隔年結果の助長へとつながりますので、確実に適正着果量まで摘果しましょう。

中晩柑類

かきよう病防除の徹底

かきよう病は風雨によって果実被害が出るため、台風前には必ずクプロシールド2,000倍液を散布しましょう。一度罹病してしまうと根絶するのは困難なので、早めの防除を心掛けます。

・堆肥施用量のめやす (10a当り1t) 豊穠・牛ふん堆肥・こだわり健康(全農牛ふん)など。

・**元肥設計**
近年は肥料高騰が続いています。過剰な施肥はさけ追肥を心がけましょう。

・**そうか病対策**
そうか病が発生しないほ場では過剰に予防する必要はありません。適正な対策を行ないましょう。

・**種芋の切断時**
ウイルス対策として種馬鈴しょを10個ほど切る度に切断刀を消毒します。 ①ケミクロンG10倍を使用し、切断刀を5秒以上つけて使用します。 ②熱湯を使用し、沸騰しているお湯に切断刀を5秒以上つけて使用します。

・**植付け時**
ウイルス病対策として初期アブラムシ防除を行ないます。

併せて硫酸加里を施用し、耐寒力を強化しましょう。(10kg/10a)

いちご

収穫が本格的に始まります。体調管理に十分注意して収穫を行ないましょう。

・**腐敗した果実を園内に放置しておく**と、シヨウジョウバエなどが増殖し共腐れを招くため、腐敗果は必ず園外に持ち出して処分しましょう。

農薬使用の注意点

・使用者自身の安全のため、農薬の製品ラベルに従った保護具を着用しましょう。

果樹 問 安芸津アグリセンター TEL 0846-45-0488 担当 広果連駐在技術員 栗木 富生

8月の苗販売情報

安芸津アグリセンターでは、直売所などJA出荷者の支援として、128穴セルトレイでの野菜苗の生産・供給を行なっています。 数に限りがありますので、お早目にお問い合わせ頂iguezご利用ください。

今月の供給品目 table with columns: 品目名, 品種名, 販売予定, 収穫予定



128穴セルトレイ (商品例) ブロッコリー苗

野菜 問 営農経済課 TEL 0846-45-3360 担当 久保勝義

防除例 (殺虫)アドマイヤー粒剤10a当り4kg 植え溝に施用します。 植付け作業 8月下旬~9月上旬頃に行ないます。水分の蒸散や高温により、種子が痛みやすくなるため、昼間の暑い時間帯を避け行ないましょう。 <その他野菜> キャベツ・ブロッコリーなどの葉菜類をはじめ、ダイコン・ニンジンなどの根菜類の秋作にむけての準備を開始しますが、いずれも高温・乾燥により発芽や活着が難しい時期です。発芽までは日よけや、涼しい時間の灌水などを心がけ、初期生育の管理を徹底しましょう。

〈馬鈴しょの生産者のみなさまへ〉 馬鈴しょのウイルス病が多発しています。感染源となる「アブラムシ」を防除しないと、生産量が減少し、大きな被害をもたらします。畑に残ったイモも感染源となるため、早めの除去が必要です。種イモは連作せず、健全な製品を購入しましょう。切断感染もするので、包丁は必ず殺菌しましょう。 <生産工程管理日誌を提出しましょう!> 生産工程管理日誌は作業記録としても利用でき、事故から生産者・消費者を守る大事な記録です。農薬使用は細心の注意を払い、正確な記入・提出をお願いします。

ライスセンター稼働開始

稼働開始日：8月26日(月)
 受付期間：8月19日(月)～11月5日(火)
 受付時間：9時～16時(平日のみ)

乾燥・粳摺り・色彩選別の利用受付は安芸津アグリセンター、
 安浦店、川尻店に備えつけの利用申込書により行ないます。



乾燥機



色彩選別機

ライスセンター利用料

乾燥 (玄米kg換算単位：円)

水分	令和6年度利用料(税込)
17%以下	8.9
18%	10.7
19%	12.4
20%	14.0
21%	15.8
22%	17.6
23%	19.3
24%	21.1
25%	22.9
26%	24.7
27%以上	26.4
調整(粳摺り)	10.0
色彩選別機	10.0

自然に恵まれ「人と人との豊かな生活」がそこにある

あなたとわたしの
ふれあい市



JAひろしま ふれあい市安芸津店

東広島市安芸津町風早647番地8

ふれあい市は、『農業者の所得増大』『農業生産の拡大』
『地域の活性化』を基本目標とし、地産地消に取り組んでいます。



8月の
おすすめ

立秋を迎え、暦の上では秋に入りましたがまだまだ残暑が厳しいですね。
 ふれあい市では秋の野菜やくだものが並び始めました。
 秋を感じにふれあい市へお越しください。



なす



くり



ハウスレモン、いちじくは
9月から並び始めます

シャイン
マスカット



ピオーネ

ほか色んな葡萄が出てきます

出荷会員募集中

自慢の農産物を出荷してみませんか？
 興味のある方は下記の連絡先までお問い合わせください。

☎0846-46-1166

ふれあい市安芸津店 担当：松本まで



※写真はイメージです。